

2014/10/01(水)22:37

科目番号	授業科目	英語科目名	単位
25877	コンピュータプログラミング1	Computer Programming I	2.0
開講期	曜日・時限	授業形態	担当教員
2014年度 後期	金曜3限	講義および演習	今野 英明
授業内容	コンピュータ・プログラミングの初心者を対象として、C 言語を用いたプログラミングの基礎的内容の講義と UNIX 上での演習を行う。		
授業の位置づけ			
授業の目標	C 言語の学習を通じてコンピュータプログラミングの基礎的素養や技法を身につける。		
到達目標	変数とデータ型、制御構造および関数呼び出しについて理解し、自力でアルゴリズムを考えて短いC プログラムを書けるようになること。よいプログラミング作法を身に付けること。		
授業計画	第1週: 授業内容の紹介とプログラミング環境 第2週: プログラムの作成と実行 第3週: 簡単なC プログラム 1 (テキストの印字) 第4週: 簡単なC プログラム 2 (算術計算) 第5週: 制御構造と if 選択構造 第6週: if/else 選択構造 第7週: switch多重選択と論理演算子 第8週: while 反復構造 第9週: 算術代入文とfor反復構造 第10週: 入れ子構造と do/while 反復 第11週: break, continue と構造化プログラミングのまとめ 第12週: データ型 (文字,整数と浮動小数点数) 第13週: 浮動小数点数の利用 第14週: 関数の概要と関数呼び出し 第15週: 試験		
成績評価	期末試験の成績 (60%) とプログラミング課題の提出状況と内容 (40%)により評価する。 ただし、試験結果が合格点に達しない場合には、出席や課題の提出状況にかかわらず、授業は不合格とする。 やむを得ぬ理由がある場合を除き、欠席する毎に評価から減点する。		
教職チェックリスト	学習指導力 それぞれの専攻・分野における講義・演習などを通して、専門領域 (科目) で求められる基礎的あるいは専門的な知識や技能を学年の進行に伴ってより深く理解し、習得する。 ・専門領域 (科目) で求められる論理的な思考力や表現力を身につけるとともに、専門領域 (科目) の様々な事象に対する関心や意欲を育む。 ・追求すべき問題を見つけ、必要な資料や文献を収集・分析・活用しながら、問題を解決していくための基本的な技能を習得する。 ・資料・文献を分析し、得られた知識や情報、それに対する自分なりの見解を適切にまとめ、発表する。		
テキスト	指定しない。 web 上に資料を用意する。		
参考文献	「C 言語プログラミング」 H. M. ダイテル, P. J. ダイテル (ピアソンエデュケーション) 「情報処理技術者テキスト プログラミング入門 C 言語」 財団法人 日本情報処理開発協会 監修 (実教出版) 「改訂 新 C 言語入門 ビギナー編」 林 晴比古 著 (ソフトバンク) 「改訂第 3 版 C 言語入門」 L. Hancock, M. Krieger, S. Zamir 著 (アスキー) 「プログラミング言語 C 第 2 版」 B. W. カーニハン, D. M. リッチー 著 (共立出版)		
オフィス・アワー	月曜日・5時限・研究室 (メール予約があれば随時)		
備考 (履修条件・履修上の注意等)	事前連絡なしに初回授業を欠席しないこと。		